

Press release

報道関係者様各位

平成 17 年 8 月 9 日



アートフェア東京、大盛況のうちに閉幕

「まじめなアートマーケット」をキャッチフレーズに開催された新しいアートの祭典『アートフェア東京』が、8月6日から8日までの3日間、有楽町の東京国際フォーラムで開催され、大勢の来客と活発な取引で賑わいました。

午前中の気温が30度を超える連日の猛暑にもかかわらず、開催前夜の招待日を入れた4日間にフェアを訪れた観客は28,214人という異例の盛況。また、国内外から出展した83のギャラリーが会期中に販売した美術品の総額はおよそ2億円にのぼるとみられ、真夏には動かないといわれていたアート市場の常識を覆しました。

今回が初めての開催だったアートフェア東京の大きな特徴は、現代アート、モダンアート、古美術、陶芸といったあらゆるジャンルの優れた美術品が東京の中心地で一堂に会したこと。来場者はふだんあまり目にする事のない種類のアート作品も数多く目にし、その豊富さと質の高さに驚くこととなりました。

アート市場の大きさと将来性を示し、素晴らしいアートの世界をぐっと身近に感じさせてくれた真夏の祭典。次回のアートフェア東京は、2007年に開催が予定されています。

遠藤建(アートフェア東京 PR マネージャー)

■アートフェア東京開催データ

入場者数

8月5日(16時～20時) 4,283人

8月6日(10時～20時) 7,812人

8月7日(10時～20時) 9,607人

8月8日(10時～17時) 6,512人

会期中の総入場者数 28,214人

取引状況

現代アート(出展者数 46) 128,600,000 円

モダンアート(出展者数 28) 40,500,000 円

古美術・工芸(出展者数 9) 24,750,000 円

会期中の総取引高 193,850,000 円

集計:アートフェア東京事務局実行委員会